

ヒトプリオン病におけるH-FABP髄液検査の標準化とB-FABPの動態

研究分担者: 広島大学大学院生物圏科学研究科 堀内浩幸

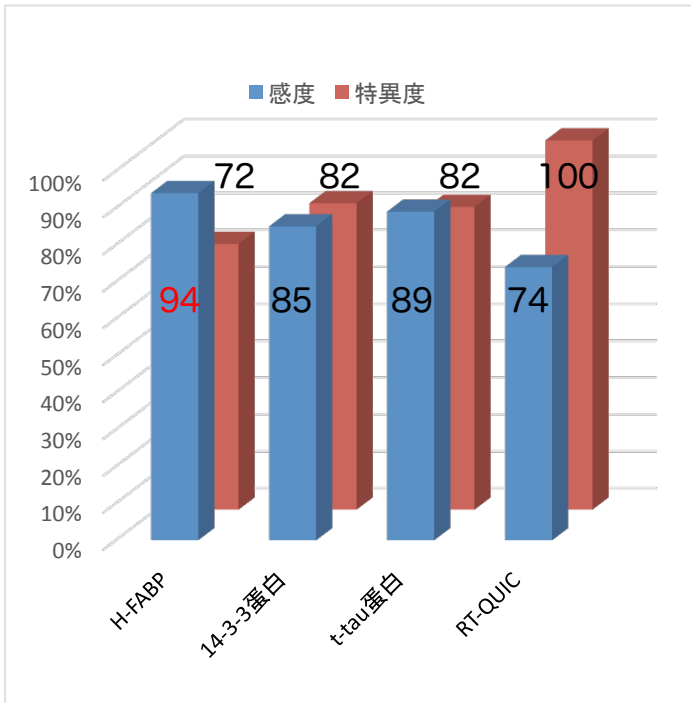


図1 プリオン病髄液検査における感度と特異度の比較

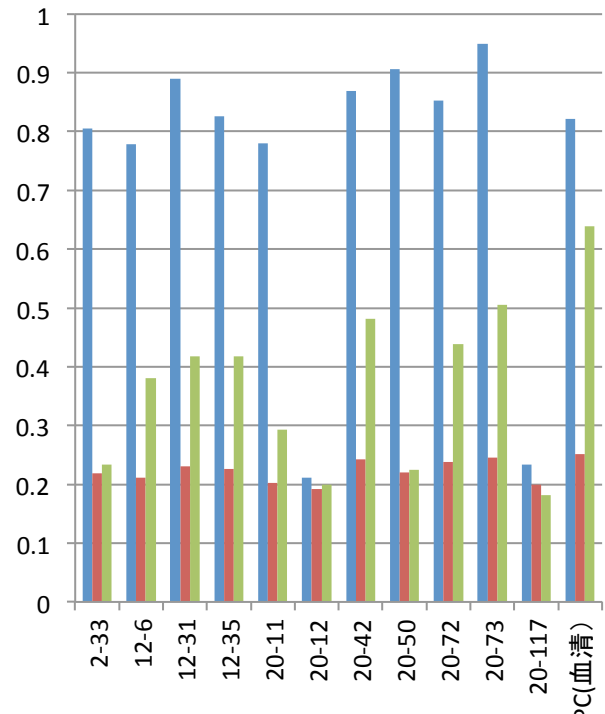


図2 B-FABPに対するモノクローナル抗体

■ B-FABP ■ H-FABP ■ GST

解説

1. プリオン病100症例, 非プリオン病100症例をもとに各種プリオン病髄液検査における感度と特異度を検査した。その結果, 感度はH-FABPが最も高く, 特異度ではRT-QUICが最も高いことがわかった。
2. B-FABPに対するマウスモノクローナル抗体の作出試験をおこない, B-FABPに特異的と思われる9種の抗体産生ハイブリドーマクローンを得た。

本研究は佐藤克也・西田教行(長崎大学)との共同研究成果である。